
1～4年次後期・選択

2単位・30時間

【概要・目標】

経済学の修得は人生に幅と深さを与えます。営利・非営利組織を問わず、どのような職に就かれても、経済学的な思考フレームワークを身につけることは、生活の根幹にとって極めて重要です。

利益は売上から仕入を差引いたものだと考えていませんか？ 銀行は受入れた預金を貸出していると考えていませんか？ 国民所得や付加価値の成長が経済成長だと思いませんか？ 円安が良いと思いませんか？ 輸出すればマネー量が増加すると思いませんか？ 残念ながらこれらの解はすべて false です。

この講義では、難しい言葉をなるべく使わずに解説し、事例の紹介を含めて教養としての経済学的思考の修得を目的とし、グローバル・マインドに立脚した多角的な視点から、社会の動きを論理的かつ客観的に分析し考察する能力を身につけます。ぜひ、積極的な受講をお待ちしています。

【授業内容・スケジュール】

- 1) 経済学で何が説けるのか、医療とマネーとの関わり
 - 2) 相関関係と因果関係、要因分析の方法
 - 3) 機会費用と利益の概念、金利・利回り
 - 4) 企業の生産計画と価格設定の効果、限界の概念
 - 5) 会計という方法、財務諸表
 - 6) 売上管理とバランス・シート
 - 7) 損益計算書とその演習
 - 8) 決算の意味と収益と費用の期間内一致の原則
 - 9) 医療制度の国際比較と医療費・医療保険
 - 10) 医療サービスと需給関係
 - 11) 金融機関と金融システム
 - 12) 金融商品、株式と投資信託、住宅ローン、医療保険の機能
 - 13) 相対的少子高齢化社会と金融機能
 - 14) マクロ経済と財政・金融政策、MMTの落とし穴
 - 15) グローバル経済とタックスヘイブン
-

【評価】

授業内の演習課題への取組み（30%）、試験（70%）で評価します

【教科書】

指定しません（配布資料により講義を進めます）

【推薦参考図書】

- 中室牧子・津川友介著『「原因と結果」の経済学——データから真実を見抜く思考法』ダイヤモンド社、2017年。
 - 川波洋一・上川孝夫編著『現代金融論 [新版]』有斐閣、2016年。
 - 國貞克則著『ストーリーでわかる財務3表超入門』ダイヤモンド社、2011年。
-

【その他】

ご質問・ご相談は、講義の前後に e-Mail (chikahiro@ehime-u.ac.jp) により受付け対応します。